



中滝ふるさと学舎講堂にて開会式
鹿角市都市農村交流事業実行委員会の中村委員長によるあいさつ



よつぎ小児童代表によるあいさつ



（森のクラフト作り体験）
小枝や木の実を使って、クラフト作りに挑戦！
木の香りが部屋中に広がります。



みんな夢中になって、作業に取り組んでいます。
出来上がった作品は、家へのお土産となりました。



交流会で民泊先の家族と一緒に食べるピザを子どもたちが作ります。
美味しいピザが出来るようにみんな真剣です。



交流会では、受け入れ家族と一緒に手作りピザをいただきました。最初は緊張気味の子どもたちも、美味しいピザを食べながら少しずつ会話が弾むようになりました。
この後、子どもたちは各民泊家庭の家へ。



2日目は、終日民泊先家庭で過ごします。
こちらは、キュウリの収穫。



こちらの家庭では、だまこもちづくり。
塩を手付けて、ご飯を丸めていきます。きれいに丸くするのは結構難しい…。



こちらのお家では、枝豆の収穫、出荷作業のお手伝い。
重さを量る目は真剣です。



農家の方が一生懸命作った枝豆を箱詰めします。
いつも何気なく食べている枝豆が、どのようにして収穫、出荷されて自分たちの手に届くのかを、実際に体験しながら学ぶことができました。



こちらのお家では、リンゴ栽培のお手伝い。
子どもたちにとっては、木になっているリンゴを間近で見ることもまた貴重な体験かもしれません。



こちらは、ネギの収穫、出荷作業のお手伝い。
商品になるものなので、みんな丁寧に作業をしています。表情も真剣そのもの。



鹿角市役所の花輪ばやし同好会の皆さんから、本囃子の踊りを教えてもらいました。事前に踊りの予習をしてきた子どもたち、扇子を持つ姿も様になってきました。
残念ながら、雨のために子どもパレードは中止となってしまいましたが、夜の花輪ばやしは観覧することができました。10台の豪華絢爛な屋台が並ぶ姿の美しさと迫力に感動！！



練習で体を動かした後は、きりたんぽづくり！
塩水をつけながら、杉の木に上手にご飯を付けていきます。みんななかなか上手です。



炭火でこんがり焼いていきます。
出来上がったきりたんぽは、鍋に入れていただきました。自分たちで作ったきりたんぽの味は最高でした。



午後は、史跡尾去沢鉱山へ。
尾去沢鉱山は、開山1300年の歴史をもち、江戸時代の鉱山の様子をガイドさんから教えてもらいながら坑道を歩きました。坑道内は年間を通じて気温が約13℃ということもあり、長袖を着ていてもちょっと寒いくらいでした。



坑道見学の後、砂金採り体験に挑戦！
みんな集中して砂金を探しますが、なかなか砂金は見つかりません。一体何人見つけることができたのでしょうか。

8月20日（火） 交流4日目



十和田小学校5、6年の子どもたちとの交流会。
最初はちょっと緊張気味…。



十和田小とよつぎ小混合チームで、ドッチビーに挑戦！十和田小の子どもたちがゲームの進行をしてくれました。

※ドッチビー：布製フライングディスクを使ったドッチボール



次は、よつぎ小の提案ゲーム「猛獣狩りに行こうよ」。
みんなで大きな声を出して体を動かすうちに、すっかり仲良くなりました。



十和田小学校の子どもたちが毛馬内大太鼓を披露。
伝統芸能を継承する姿は、よつぎ小学校の子どもたちにとっても、良い刺激になったようです。

【子どもたちの感想より】

- ・噂に聞いていた鹿角市の皆さんの温かさを初めて実感した。今まで何回かやった農作業なのに、やり方が違っていて新たなことを学べた。
- ・ホームステイした方が家のものすごく大きかった。去年も今年も優しい人だったので、次は自分1人で行き、お手伝いできたらと思う。
- ・一緒に宿泊した友だちや交流した人たちとも仲良くなれて良かった。秋田のお祭りはすごく楽しかった。特に10台の御神輿が並んですごく立派だった。6年なので、もう秋田には行けないけど、また行けたらいいなと思う。
- ・農業体験は2回目。農業の楽しさ、面白さを改めて感じた。東京では絶対に出来ないことをたくさんさせてもらった。
- ・ホームステイ先のおじさん、おばさんから優しく農業のやり方や美味しく食べる工夫などを教えてもらえた事が嬉しかった。
- ・東京と違って山や川がきれいだった。自然と触れ合えてよかった。
- ・自然環境の豊かな秋田とビルが建ち並ぶ東京、正反対の暮らしをしていた私たちでもいざとなると友だちになれるんだと思った。
- ・農業について色々分かった。特に大根の種を植えた時、種類が違くと色も形も全く違うので驚いた。

【保護者の感想より】

- ・東京では出来ない体験をたくさんして、とても楽しんで帰ってきた。新鮮な採れたて野菜の美味しさに感動していた。夏休み一番の思い出になった。
- ・一人っ子の息子は、大家族のお宅にホームステイして、大勢で食卓を囲み賑やかに過ごせたことが大変楽しかったよう。楽しい体験をして、成長できた4日間となった。
- ・親は3泊が少し不安だったが、帰ってきて話を聞くと、とても楽しかったようで色々な話をしてくれた。自然に接することや、農業体験等子どもにとって貴重な体験になった。
- ・今回2回目の交流参加。孫のように本当に可愛がってもらい、おじいちゃん家に行ったような体験をして帰って来た。秋田に永住したいそう。
- ・鹿角の素晴らしい自然はもちろんだが、何よりも鹿角の皆さんからいただいた「あたたかい気持ち」が強く思い出に残っているよう。人との交流の素晴らしさを改めて感じた。この体験で得た「あたたかい気持ち」が息子の心を一つ成長させたと思う。

【引率者の感想より】

- ・鹿角の素晴らしさは、事前にたくさん聞いていたにも関わらず、想像を超えた交流体験で感動した。
- ・鹿角市役所の方々の至れり尽くせりの対応、農家の温かい受け入れ…と、人との交流が一番印象に残った。この後も関係がずっと続くような交流ができれば良いと感じた。とても良い体験が出来た。
- ・ふるさとをもたない子どもたちが増えている現代、このような形で鹿角の皆さんの温かい心に触れられることは大変有り難いこと。子どもたちもこの体験を通して、一回りたくましく成長したと感じる。